

横須賀市自然・人文博物館付属

馬堀自然教育園／天神島臨海自然教育園・ビジターセンター
しぜんきょういくえん

自然教育園だより

Vol.1 No.2

(2008年 秋号)

2008年9月5日 発行

横須賀市自然・人文博物館

046-824-3688

自然教育園ギャラリー



潮溜まりに飛び込んできたクサフグ。
(6/6・天神島臨海自然教育園)



樹液に集まるノコギリクワガタのカップル
(8/27・馬堀自然教育園)

◆この秋の見どころ (9-11月)◆

ウミネコは、
当年生まれ
の幼鳥がま
じっています。



天神島では、花の見頃の時期は終
わりですが、実や種子などの観察に
はよい時期です。鳥は、北から南に
向かう渡りの時期で、海上を飛ぶヒ
ヨドリやサシバの群れは壮観
です。

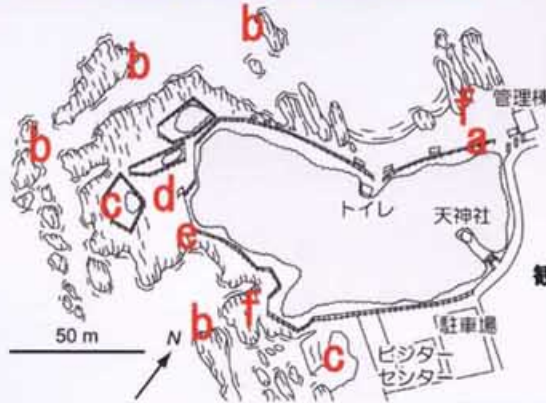


ハマオモト
(ハマユウ)
は、潮の流
れて種子を
散布しま
す。

天神島臨海自然教育園



ハマユウの
実は、良い
香りがしま
す。



観察マップ：
写真のa～fを図上に示し
ています。



大潮の満潮時
には、ハママ
ツナは海水に
浸ることがあ
ります。



マルホアキバ
ミの赤い実。同
じ時期にオオ
バグミが花を
つけています。



ハマボウは、美しい黄色に紅葉す
ることがあります。

◆自然教育園での出来事 (2008年6-8月)◆

一 天神島臨海自然教育園 一

- 6月1日 笠島周辺の磯でチュウサギ15羽、アマサギ3羽。
- 6月4日 キアゲハの2齢幼虫がハマウドにいました。
- 6月5日 クサフグの集団産卵。コヨシキリがアイアシにとまってさえずっていました。笠島でイヨカズラが開花。
- 6月12日 天神社近くにピロウドハマキがいました。
- 6月20日 アイアシが出穂しました。
- 6月21日 ケカモノハシが出穂しました。
- 6月26日 スカシユリが開花しました。
- 7月5日 水たまりにコミズムシとハイイロゲンゴロウ。
- 7月6日 ネコノシタが開花しました。
- 7月10日 ウミネコの群れが見られはじめました。
- 7月11日 ハマオモトの一株が開花しました。今年はこちら数年の中では開花がやや遅めでした。
- 8月14日 ハマボウが2つ花をつけました。
- 7月17日 ハマゴウの開花 (下図)。



ハマゴウ (7/19)

- 7月20日 ハチジョウナ咲き始め。ハマゴウ3分咲き。ハマボウ満開。夕方、ヒグラシが鳴きました。
- 7月26日 アブラゼミ・ミンミンゼミの初鳴。
- 7月30日 ハマユウ・ハマゴウ・ハマナデシコなど満開。
- 8月1日 ハマカンゾウが花ざかり。オオミズナギドリが笠島の西側で群れていました。
- 8月2日 ギンカクラゲがみられました。全長4cmくらいの若いトカゲをみました。ツクツクボウシの初鳴。
- 8月3日 紫色のカメノコフシエラガイが潮の引いた磯でみられました。ホシフグが打ちあがりました。
- 8月6日 ゴバンノアシが打ちあがりました。
- 8月9日 チョウチョウウオ類やモンガラカワハギ類の幼魚がみられました。
- 8月16日 天満宮の樹林でクマゼミの声を聞きました。
- 8月17日 潮だまりでソラスズメダイがみられました。



ハマグルマ (7/19)

一 馬堀自然教育園 一

- 6月3日 下の池のヤマグワの枝にオオルリがとまっていました。
- 6月6日 アオスジアゲハ・モンシロチョウ・モンキチョウが飛翔。スタジイの根元にカンゾウタケ。上の池のトウキョウサンショウウオの幼生に手足が生えました。
- 6月8日 飼育棟近くでカナヘビを見かけました。学習棟前のオオシマザクラの木にカブトムシのメスがいました。
- 6月18日 ヤマユリが一輪咲きました。
- 6月19日 飼育棟で保護していたイモリの卵が孵化開始。ホタルガが飛翔。イヌビワとイロハモミジの葉の裏でゲンジボタル5頭が休んでいました。
- 6月21日 水路近くを2匹のサワガニが歩行。雨でぬれたシラカシの幹にキセルガイが30匹以上附着。
- 6月22日 コナラにミツバチが営巣していました (下図)。



タシロラン



ミツバチの集団と
キロスズメバチ (右)
(7/25)

- 6月24日 下の池でオオシオカラトンボのオスが飛翔。
- 6月26日 コクランが咲き出しました。
- 6月27日 学習棟にクロイロコウガイビルが出ました。
- 7月1日 センリョウ・ツルオオバマサキなど満開。
- 7月4日 園路脇にタシロランが見られました (上図)。
- 7月5日 学習棟のカブトムシの幼虫が羽化開始。
- 7月9日 アブラゼミ飛翔。下の池にアライグマの足跡。
- 7月10日 ニイニゼミの初鳴。コタマゴテングタケモドキ・クロタマゴテングタケが見られました。
- 7月17日 タシロランが種子を飛ばしていました。
- 7月24日 ヒグラシの初鳴。
- 7月26日 園路でヤマアカガエルを見かけました。
- 8月3日 上の池でオニヤンマを2匹見ました。
- 8月8日 オオシマザクラの木にタマムシがいました。
- 8月15日 上の広場でオオミズアオを見ました。
- 8月20日 クロマツからマゴジャクシが出ました (下図)。
- 8月21日 調査用トラップにアオオサムシ3匹が入りました。ヒナカマキリが落ち葉の上を歩行 (下図)。オオスカシバが飛翔。



マゴジャクシ (8/23)

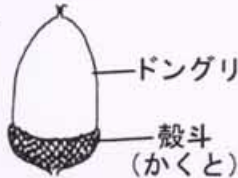


ヒナカマキリ (8/21)

◆自然教育園ガイド◆

「馬堀自然教育園のどんぐり」

実りの季節といわれる秋。馬堀自然教育園では、オニグルミやムクノキなどとともに、6種のどんぐりが熟します。「どんぐり」とはブナ科のコナラやクヌギなどの果実につけられた名前です。どんぐりのような硬い果皮（果実の皮）をもった果実を植物学では「堅果（けんか）」と呼びます。英語では「ナッツ」です。どんぐりは「どんぐりの背比べ」といわれるように、色も形も大きさも互いによく似ていますが、果実を包むカップ状の「殻斗（かくと）」も一緒に比較すると比較的容易に識別することができます。どんぐりを観察する時にはぜひ殻斗のついたものを探しましょう。



マテバシイ: 三浦半島ではもっとも大きなどんぐりです。殻斗が屋根瓦を敷き詰めたようなうろこ状の鱗片で覆われています。果実は楕円形で「お尻」がへこみ、殻斗は互いにくっつくという特徴があり

ます。2年目に熟します。生でも食べられます。

スダジイ: 殻斗はまばらにいぼがあつて、果実全体をおおい、熟すと3つに裂けます。果実の横断面は三角状で、やや角張っています。2年目に熟します。生でも甘く、食べられます。

アカガシ: 殻斗は茶色で、おわんを幾重にも重ねたように同心円の輪ができ、果実はずんぐりした楕円形で、先端は小さなふくらみがあります。2年目に熟します。

シラカシ: 殻斗は灰色を帯びた茶色で、アカガシ同様同心円の輪ができ、果実はスマートな楕円形で、先端は小さなふくらみがあります。

コナラ: 殻斗はマテバシイのように、うろこ状の鱗片でおおわれています。果実の「お尻」はマテバシイのようにへこんではいませ

ん。
クヌギ: 殻斗は多数の細長い鱗片でおおわれ、熟すと外側の鱗片は反り返ります。果実はほぼ球形で「どんぐり眼」のどんぐりはクヌギの果実に由来するのでしょうか。2年目に熟します。



マテバシイ コナラ クヌギ



アカガシ シラカシ スダジイ

三浦半島ではこのほか、アラカシ、ウバメガシ、シラカシが分布しています。横須賀市西部の御幸浜にある岩崎山のウバメガシ林は自然分布の北限に当たります。

どんぐりを生むブナ科植物は、大きく丈夫なため防風林として、美しく硬い材は家具や様々な道具、炭などとして、栄養に富むどんぐりは食料や家畜の餌として、昔から人間の生活を支えてきた大切な植物です。どんぐりを通して身近な樹木に親しむ機会としてください。(大森 記)

◆自然教育園イベント紹介◆

— 博物館教室 —

1. 水辺の生物を育てよう

メダカ、トウキョウサンショウウオ、イモリなど、三浦半島では限られた生息地でしか見ることができなくなった水辺の生き物たちの生息環境を保全・再生する活動を、市民協働によって行います。11月2日(日)、12月7日(日)、2月1日(日)、3月1日(日)の連続4回。各回とも10:00～12:00。馬堀自然教育園。対象は小学生以上10名(小学生は保護者同伴)。野外保険料各回50円。締切:10月19日(日)。

— 天神島めぐり —

対象は小学生以上(小学生は保護者同伴)で先着20名(事前申込不要)。野外保険料50円。

1. 海岸植物 — 秋 —

ハチジョウナやハマグルマが咲き終わるころハママツナやホソバナハマアカザは紅葉し、トベラやテリハノイバラなどは鮮やかな果実や種子をつけます。季節の変わり目の海岸植物の様々な表情を観察します。10月19日(日)11:00～12:00。天神島ビジターセンター集合。

2. 海岸昆虫—秋—

天神島には海岸・草原・林があり、小さな昆虫達にとっては多様な変化に富んだ環境です。秋は地面の中の

虫たちにスポットを当てます。11月16日(日)11:00～12:00。天神島ビジターセンター集合。

— 天神島ミニ企画展示 —

天神島ビジターセンター1階の展示ケース内で展示されています。

1. 三浦半島の海岸植物

三浦半島は海岸線が複雑なため、砂浜・磯・海崖・干潟・海岸段丘斜面の草地といった多様な海岸環境がつけられ、神奈川県ではもっとも豊かで美しい植物を育ててきました。半島の北東部と南西部では谷が陸から海へ深く刻まれており、南東部では平坦な砂浜が見られ、南部は海岸段丘が発達しています。

ここでは海岸環境の特徴とそこに生育するおもな海岸植物を生態写真でご紹介します。2008年10月3日(金)まで。

2. 天神島周辺の地質

天神島から長者ヶ崎にかけての三浦半島北西部では、三崎層や逗子層、立石層、葉山層など、異なった時代の地層が複雑に分布しています。また、秋谷周辺の海岸からは子産石(ノジュール)が産出し、安産のお守りとされています。この企画展示では、これらの地域の地質について、子産石を含む岩石資料や空中写真を交えながら紹介します。10月11日(土)～2009年3月29日。

◇博物館行事レポート◇

～「天神島めぐり」特集～

(田中 記)

6月15日 「海浜昆虫—初夏—」

家族連れ中心に多くの参加者がありました。ビジターセンターに集合後、学芸員から教育園内の昆虫調査について説明をうけました。天満宮の樹林内では、アリグモやアオスジアゲハの幼虫、ホシベニカミキリを見つけたりしました。教育園では、開花前のハマオモトやこれを食草とするハマオモトヨトウの幼虫を観察しました。頭部と尾部がオレンジ色で目立つのですが、これは襲われたときに助かる可能性を高めているとのことでした。

砂浜では、少し時間をかけて砂の中の生き物探しをしました。ハマトビムシやハマダンゴムシ、ハサミムシ、ヒョウタンゴムシの幼虫などが、容器いっぱいになりました。こうした動物たちは、打ちあがった海藻を分解する重要な役割をもっています。これ以外にも、園路を歩きながらハマウドやツルオオバマサキの花に飛来した昆虫たちを観察する

など、晴天にめぐまれ暑さが心配された中ではありましたが、普段気づかないような小さな自然を楽しむことができました。

(参加者 19名)



ホシベニカミキリ



天神島めぐり
「海浜昆虫」の様子

7月20日 「海浜植物—夏—」

この時期の天神島は、亜熱帯性植物のハマオモト（ハマユウ）とハマボウの花期で、もっとも華やかなシーズンを迎えます。今年、ハマユウはここ数年の中では開花がやや遅く、開花数も少なめでした。

この日に観察した植物は、他にハマボウ、タイトゴメ、ツルナ、ノブドウ、エビヅル、ネコノシタ、スカシユリ、オカヒジキ、ハチジョウナ、ハマゴウなどがあり、学芸員が個々の種の見分け方やループを用いた植物の体のしくみなどを解説しました。

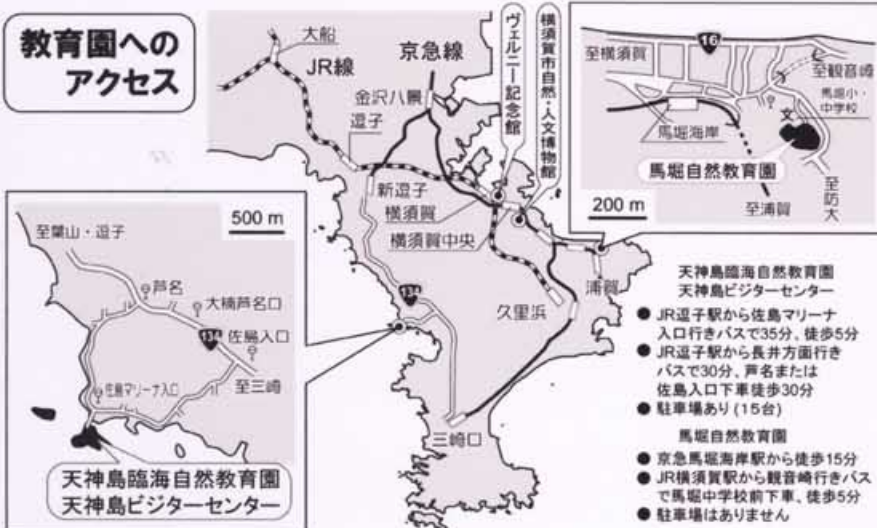
(参加者 4名)



ハマボウ

◆横須賀市自然・人文博物館 付属自然教育園◆

教育園への
アクセス



馬堀自然教育園

〒239-0802
横須賀市馬堀町4-10-3
TEL 046-841-5727

天神島臨海自然教育園
(ビジターセンター)

〒240-0103
横須賀市佐島3-7-3
TEL 046-856-0717

博物館本館

〒238-0016 横須賀市深田台95
TEL 046-824-3688
FAX 046-824-3658

休館・休園日 月曜日・年末年始
開館・開園時間 9:00-17:00
(自然教育園 10～3月は16:30まで)

博物館ホームページ

<http://www.museum.yokosuka.kanagawa.jp/>

◆自然教育園をご利用の際の注意◆

- ①動植物の採集はできません。
- ②ペットを連れての入園・レジャー用品の持ち込みはご遠慮ください。